

令和5年度 第1回高根沢町総合教育会議 会議録

会議の日時	令和5年6月21日(水) 開会 午後1時30分 閉会 午後4時20分	場 所	高根沢町改善センター 2階 研修室
出席者の氏名	加藤公博(町長) 野中直子 中野謙作 齋藤君世 佐藤豪男 坂本美知夫(教育長)	説明員及び書記氏名	(学校教育課) 課長 加藤 敦史 給食センター所長 林 博志 課長補佐 小林 賢治 課長補佐兼管理主事 兼指導主事 今平 紀章 課長補佐兼指導主事 平山 勇輔 係長 金枝 ジュン 主任主事(書記) 穂本 詩音 (こどもみらい課) 課長 田中 圭子 課長補佐 鈴木 郁子 (生涯学習課) 課長 片野 秀光 課長補佐 赤羽 康弘 係長兼指導主事 齋藤 洋一
欠席者の氏名			
会 議 次 第			
1 開 会 2 町長あいさつ 3 議 題 (1) 令和4年度高根沢町教育行政の主な実績について (2) その他 4 閉 会			

議 事 の 経 過

<p>学校教育課長</p>	<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4に基づき、総合教育会議を開催します。</p> <p>はじめに、町長よりごあいさつをお願いいたします。</p>
<p>町長 (あいさつ)</p>	<p>総合教育会議制度が開始されてしばらくたちますが、これまでは、前年度の予算執行の実績、課題、今後の方針等について、PDCAサイクルの中で委員の皆様からご意見をいただいていたところですが、しかしながら、今後の改善点として、町部局と一体となって共通理解を図って進めていくため、例えば、町が現在進めている大きな2つの柱「新庁舎整備及び町全体の公共施設のあり方」「カーボンニュートラル（ゼロカーボン）」については、公共施設の大部分を教育委員会施設が占めること等を踏まえると、教育委員会として今後どう考えるのか、どうしていくのか、委員の皆様のご意見をいただいく必要があります。また、昨年度、町に答申のあった学校規模適正化についても教育委員会としての考えをまとめていく必要があります。こういった大きなテーマについて、通常の教育委員会定例会の中で審議いただいた内容を、総合教育会議の場でやりとりする必要があると考えています。より効果的な会議に向け、定例会や総合教育会議の進め方については、事務局でたたき台を作り、新たな体制を構築していきたいと考えていますので、よろしくをお願いいたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>議事録署名人に中野委員、書記に学校教育課本主任主事を指名します。</p> <p>議題（1）令和4年度高根沢町教育行政の主な実績について、事務局から説明します。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>それでは、議題（1）令和4年度高根沢町教育行政の主な実績についてです。令和4年度の主な実績を「町地域経営計画2016（後期計画）」における基本目標・施策ごとに、それぞれ主な「実施内容」、「課題」、「課題に対する取組方針」を掲載しました。</p> <p>（資料をもとに学校教育課長から説明）</p>
<p>教育長</p>	<p>学校教育課の施策ごとに、委員の皆様からご意見をいただきたいと思います。まず、確かな学力の育成についていかがでしょうか。</p>
<p>野中委員</p>	<p>「英語教育の充実（ALT・JTEの活用）」の「取組方針」の中で、「相互授業参観の実施するほか、指導方法について毎月確認する」とありますが、今年度4月から6月まではどのような実施状況だったのでしょうか？</p>
<p>平山指導主事</p>	<p>ALT・JTEについては、4月に1年間の基本方針や役割分担の確認を行いました。今月30日には、英語専科教員・JTE・ALTが参加する研修を実施する予定です。</p>

議 事 の 経 過

	内容は、今後実施する相互授業参観の実施方法、具体的観点の協議や、これまでの協働や連携の振り返りなどです。また、毎月月末に学校を訪問して、指導状況や勤務実態の聞き取りや確認をしています。
中野委員	「ICT教育の推進」の「取組方針」の中で、「教員全体の指導力向上に取り組む」とあるが、指導力向上の達成すべき「指標」はあるのか？ また、「英語教育の充実（ALT・JTEの活用）」についても、テスト結果や英検取得割合など、「成果指標」はあるのか？
学校教育課長	教員のICTスキルについては、設定が難しいなどの課題があり、設定できていない状況です。必要性を感じていますので、実態把握等を進めて見極めていきたいと考えています。
教育長	英語教育の指標については、県版の学力状況調査において、「英語の学習が好きか否か」を1つの指標としています。この指標はここ数年上昇傾向にあります。全国学力状況調査での英語の点数では、全国平均とほぼ同程度という結果になっています。英語力向上については、英検助成事業を考えているところですので、助成方法と合わせて、指標としても検討しなければならないと考えています。
中野委員	英検については、助成に限らず、受検に当たって特別学習のような形で、土曜日学習など、何らかの支援策を検討していただきたい。
教育長	続いて、「学ぶ意欲と自己肯定感・自己有用感の育成」について、ご意見等ありますでしょうか。
齋藤委員	「キャリア教育の推進」の「夢の教室事業」については、「高根沢町に縁のある人や地域の住む身近な人等を講師に迎え講演会やワークショップを実施しました」とありますが、具体的にはどのような内容でしょうか？
平山指導主事	昨年度は、阿久津小学校ではオリンピックである飛び込みの榎本選手、西小学校では元地域おこし協力隊員で「のぶおぼんど」の中島さん、中央小学校では「十割蕎麦ひかり」、北小学校では「イタリア食堂ヴェッキオ・トラム」など、地域に縁のある方を招いて実施されました。
教育長	今後は、夢の教室事業用の人材バンクのようなものを作って、各学校で計画的に招いていくことを考えています。
佐藤委員	キャリア教育の「ファイル」の取組については、昨年度に上高根沢小学校を学校訪問した際に見せていただいたが、現時点で、経過の把握や追跡調査のようなものがあるのでしょうか？

議 事 の 経 過

今平指導主事	キャリア教育で使用するファイルは「キャリア・パスポート」と呼ばれるもので、職業だけでなく、「自身の生き方」について考えていくために、小学校1年生から高校3年生まで12年間使用するものです。令和2年度から取組を開始したものですので、まだ具体的効果の把握や検証には至っていないところです。
教育長	続いて、「健やかな体の育成」についてはいかがでしょうか。
野中委員	1つ提案として、課題である「運動の習慣化」については、学校での昼休みの過ごし方を工夫することで、遊びやゲームなどを通じて体を動かしてはどうか。
佐藤委員	運動のタイミングとしては、できれば、食べる前や、食べてから少し時間がたってから運動するのが望ましいと思う。幼児期からの運動は非常に大事だと思うので、積極的に取り組んでほしい。
齋藤委員	これまで推進してきた「食べて、動いて、よく寝よう」運動の検証などから、幼児教育の中では、業間や昼休みではなく、「朝の運動遊び」が重要視されてきている。この流れが義務教育に上がって途切れてしまうのも残念なので、学校の授業の編成の中でどこまでできるかは難しさがあると思うが、町独自に取り組むことも考えられる。朝の運動で、意識が覚醒して集中力が高まることは、学力向上にもつながるアプローチになると思う。
教育長	それぞれの観点や経験からの様々なご意見をいただきましたので、事務局で検討させていただきます。
学校教育課長	幼保小連携の中でテーマとしてもいいですし、何ができるかを検討していきます。
教育長	続いて、教育環境支援の充実について、ご意見をお願いいたします。
野中委員	日本語の理解が十分でない外国人児童生徒への対応については、児童生徒だけでなく、保護者に対しても、日本語理解の支援や生活支援があるといいのではないかと。子どもたちと保護者とが情報を適切に共有・理解することで、生活・学習環境が向上すると思う。難しい課題だが方法を模索してほしい。
教育長	学校の実態を把握して、検討していきたいと思います。
齋藤委員	教員・学校だけでどうにかしようとするのではなく、保護者や地域の方の中にも外国語が堪能な方がいらっしゃる場合があるので、もっと率直にストレートに募集してみるのもいいのではないかと。
教育長	続いて、安心・安全な学校づくりについてはいかがでしょうか。
佐藤委員	通学路安全プログラムについて、身近なところでは、自宅近くの点滅信号機が年内に撤去される話を聞いたが、通学路の問題として、教育委員会では把握しているか？

議 事 の 経 過

学校教育課長	まだ把握していません。具体的な把握に努めていきます。
町長	町では、さくら警察署から町地域安全課に入った連絡として、一灯式点滅信号機が製造中止となったために、県内の一灯式点滅信号機は全て一斉撤去になるとの報告を受けています。
教育長	続いて、「地域とともにある学校づくり」についていかがでしょうか。
	(意見なし)
教育長	それでは、総括して町長からご意見をお願いいたします。
町長	全体としては、教育委員に対する「必要な情報の提供不足」を感じました。例えば、通学路安全プログラムの合同点検結果についても、情報提供して共有すべきと思います。
教育長	次に、生涯学習課の施策について、事務局から説明をお願いします。
生涯学習課長	(資料をもとに生涯学習課長から説明)
教育長	それでは、生涯学習課の施策ごとに、委員の皆様からご意見をいただきたいと思えます。まず、「みんなで子どもを育てよう」、「共に学び、高め合おう」についていかがでしょうか。
	(意見なし)
教育長	続いて、「図書館を利用して本に親しもう」についてはいかがでしょうか。
野中委員	図書館の本の並べ方についてですが、本の上に本を横置きする並べ方をしているようなので、改善していただきたい。
生涯学習課長	指導していきたいと思えます。
佐藤委員	図書館の利用率は、現在も県内トップクラスなのか？また、オンラインでの貸出状況については把握しているか？
生涯学習課長	貸出数は前年比では減少していますが、現在も県内トップです。オンラインでの利用があるため、貸出数の減少だけでは利用率が減ったとは認識していません。
佐藤委員	健康・スポーツ、芸術・美術など一部の分野しか見ていないが、蔵書の内容が他市町と比較して古いと感じた。蔵書内容の検証はしているか？是非充実させてほしい。
生涯学習課長	定期的に購入して蔵書内容は更新されていますが、基本的には、指定管理事業者の方針や考えに基づいた選書によるものです。
教育長	蔵書内容については、事務局で点検をお願いします。

議 事 の 経 過

教育長	続いて、「施設を活用してみんなで学ぼう」、「文化芸術に親しもう」、「文化財を受け継いでいこう」についてはいかがでしょうか。
	(意見なし)
教育長	続いて、「スポーツをやってみよう」についてはいかがでしょうか。
佐藤委員	出前講座というのは具体的にどのような内容を実施しているのか？
生涯学習課長	ペタンクとカローリングの出前講座を実施しました。
佐藤委員	推進しているペタンクの出前講座が年間2回の開催ということなので、更に積極的に開催していくべきでは？また、ペタンク・カローリング以外については取り組んでいるのか？
生涯学習課長	去年は、国体が開催されたことから、会場や日程の都合上、2回の開催にとどまりました。今年度は、開催回数を増やすべく取り組んでいるところです。ペタンク・カローリング以外のニュースポーツについても、道具の貸出しを行っていますので、更に周知を図っていく予定です。
佐藤委員	ペタンクの出前講座の参加人数は？
赤羽課長補佐	ペタンクの出前講座は、参加10人以上の場合に実施しているものです。
教育長	続いて、「スポーツで心身を鍛えよう」についてはいかがでしょうか。
	(意見なし)
教育長	続いて、「尊重し合い、支え合おう」についてはいかがでしょうか。
野中委員	「男女共同参画の推進」について、これからの社会は、「女性が活躍する」というよりも、「誰もが自分らしく生きる」という視点が大事であるので、次に計画を策定する際には考慮してほしい。
教育長	続いて、「結婚について考えよう」についてはいかがでしょうか。
	(意見なし)
教育長	それでは、総括して町長からご意見をお願いいたします。
町長	生涯学習課の事業については、コロナ禍の中で、事業の組立てや執行が難しかったことについてご理解をいただければと思います。補足しますと、図書館事業については、現在も住民1人当たり県内一の図書購入費を予算化しています。貸出数は減っているものの、引き続き県内一であり、宇都宮市など町外の利用者が多いのが特徴です。しかしながら、高根沢町の図書館は陳腐化してきている部分があり、指定管理事業者に対しても話をしていますので、今後の展開については期待をしているところです。

議 事 の 経 過

教育長	次に、こどもみらい課の施策について、事務局から説明をお願いします。
こどもみらい課長	(資料をもとに、こどもみらい課長から説明)
教育長	それでは、こどもみらい課の施策ごとに、委員の皆様からご意見をいただきたいと思えます。まず、「子育ての経済的負担の軽減」についていかがでしょうか。
	(意見なし)
教育長	続いて、「子育て支援に関する相談」についていかがでしょうか。
中野委員	令和6年までに設置される「こども家庭センター」は、「子育て世代包括支援センター」が名前を変えたものか、新たに組織されるものか？
こどもみらい課長	「こども家庭センター」は、「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」が一体化した支援機関です。
中野委員	子育てだけでなく、虐待や不登校など様々な相談を受ける可能性があるため、相談員の研修を強化していただきたい。
教育長	続いて、「情報発信力の強化」、「子育て支援サービスの充実」についていかがでしょうか。
	(意見なし)
教育長	続いて、「安心・安全な児童福祉施設」についていかがでしょうか。
佐藤委員	公立の保育園について、虐待の実態はないと思えますが、虐待の抑止力強化のために、防犯カメラの設置を早めをお願いしたい。
こどもみらい課長	確認したいのですが、佐藤委員の要望されている防犯カメラは、部外者の侵入を防ぐ目的のものではなく、保育業務中での虐待を防ぐために保育士の業務管理をする目的のものという意味でよろしいでしょうか？
佐藤委員	管理者の目の届かないところで弱者への虐待が横行するような時代なので、抑止力としての設置が必要であり、何か事故等があった際にも、働く職員を守ることにつながると認識している。そのような認識は持っていないか？
こどもみらい課長	職員の管理のために常時観察するという意味では、人間同士の信頼関係という点から、心情的にそこまで必要なのかという感覚はあります。実際に幼稚園などの現場ではどうなのでしょう？
齋藤委員	幼稚園よりも保育園の方が加配人員が多い状況だと思われるのと、一番確かなのは「人の目」であり、カメラを設置することで逆に盲点や不注意を生じさせるよりも、まずは職員が自分達自身の「360度の目配り」の力を磨き上げることの方が、優先順位は高いと感じる。

議 事 の 経 過

佐藤委員	監視ではなく、何かあったときのための記録であり、職員を守ることになる。幼稚園ではどのような目的で設置しているのでしょうか？
齋藤委員	防犯・不審者対策と、金品管理、出入り等の移動の安全のために設置している。
佐藤委員	公立の保育園ではそれさえもないということなるし、今の時代に、検証する記録がないというのは、時代に遅れていると思う。防犯カメラという言葉で誤解があるかもしれないが、カメラでずっと監視するという意味ではなく、記録が必要だという趣旨です。
教育長	この件については、もう少し時間をかけて、目的を明らかにして議論していきたいと思います。 それでは、総括して町長からご意見をお願いいたします。
町長	高根沢町の出生数の状況や傾向は、教育委員の皆様にもきちんとお伝えしていく必要があると考えています。令和4年度の高根沢町の出生数は200人を切っていて、過去最少となり、急激な少子化を迎えています。ただし、人口当たりの出生数では県内1位であり、他市町では更なる少子化が進んでいる状況です。予算の厳しい中で創意工夫をしながら少子化対策を実施してきましたが、結果はついてきていません。また、高齢化率についても、3月現在で高根沢町が26.3% 県平均が30.1%となっています。国の異次元の少子化対策についても、検証できるのは30年先になると思いますし、基礎自治体にとってはこれからは非常に大変な時代になると考えられます。その中では、出生や幼児教育等の環境整備を進めていくことに尽きるのではないかと思います。ですので、できるかできないかという視点ではなく、また、予算や財政的な話は抜きにして、どうやったらプラスの効果につながるのか、改善していけるのかについて、教育委員の皆様の率直な意見を、総合教育会議の場でいただければと思います。
教育長	それでは、議題の(1) 令和4年度高根沢町教育行政の主な実績については以上となります。(2) その他については何かありますか。
	(意見なし)
教育長	それでは、本日は貴重なご意見をありがとうございました。皆様からのご意見を今後の事業に活かせるよう進めてまいります。
学校教育課長	それでは、以上をもちまして総合教育会議を閉会いたします。

令和5年 月 日

議事録署名人

教育委員会委員